



議会だより



おもな内容

令和3年度 決算認定	4
もっとくわしく 質疑応答	8
一般質問 (5人)	14

舞い上げれ



一般会計補正予算

物価高騰に対する支援など 総額 1億5803万円

世界情勢の変動に加え、止まらない円安が拍車をかけ、燃料をはじめあらゆる物価が高騰。その対策として7302万円の補正予算をはじめ、1億5803万円の審議を行った。

ここに注目

おもな物価高騰対策事業補正予算(9月補正予算)

燃料費高騰対策支援補助金 (269万円)

原油価格等の高騰により影響を受けた運輸・交通分野事業者等に補助金を交付し、事業の継続および経営の安定化を図る。

登録された営業車両の台数に次に価格を乗じた金額。

- ・4t以上の大型車: 50,000円
- ・4t未満の普通車: 25,000円
- ・町に営業登録の軽自動車: 12,500円

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 (4200万円)

家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯、家計急変世帯)に一世帯当たり5万円を給付する。

生活困窮世帯光熱費助成 (70万円)

生活困窮者一世帯当たり1万4千円の光熱費を助成する。

農業者応援特別助成事業 (981万円)

農業資材等が高騰している状況を踏まえ、農業経営の安定を図るため、生産者を支援する。耕作されている全ての水田を対象とする。

- ・単 価: 1000円/10a
- ・対象面積: 981 ha



大宮分団機庫新築工事 (176万円)

物価高騰により予定していた設計額を超える見込みのため補正する。

- ・当初予算 1868万円

人工透析患者の交通費助成 (65万円)

通院をやめられない人工透析患者の負担軽減と福祉の推進を図るため、交通費を助成する。

議決したおもな議案

人権擁護委員候補者の推薦に
たり議会の意見を求めるもの

青戸 和子(多里)
任期は、令和5年1月1日から
令和8年12月31日までの3年間。

固定資産評価審査委員の選任に
つき同意を求めるもの

大塚 二美(福万来)
木下 正紀(霞)
向原 英之(三吉)
任期は、令和4年11月1日から
令和7年10月31日までの3年間。

定年引上げ等に伴う関係条例の制
定(抜粋)

職員の定年年齢を段階的に引き上
げ、65歳(医師、歯科医師は70
歳)とする。

年度	定年年齢
令和5年	61歳
令和7年	62歳
令和9年	63歳
令和11年	64歳
令和13年	65歳

また、60歳以後、管理職から非
管理者へ降任、基本給は7割支給。

一般会計補正予算

◆たつたもカード地域内経済循環
対策事業 2250万円

たつたもカードプレミアムポイント
の5倍デーを実施した3回の実績に
よる増額。

◆新型コロナウイルス感染症対策
事業者緊急応援金 1541万円

新型コロナウイルスの影響により、令和4年
のうち任意の3か月間の収入が、平
成31(令和元)年・令和2年・3年い
ずれかの同月より15%以上減少して
いる事業者に対し、30万円を上限と
して応援金を交付する。

◆予防衛生一般事業

1307万円

オミクロン株対応ワクチンおよび
季節性インフルエンザワクチンの接
種体制確保。
オミクロン株対応ワクチン接種費
用。

◆耕地災害復旧事業

1500万円

令和4年7月豪雨災害による農地



町有林の再造林

および農業施設災害復旧。
農地 5か所(笠木ほか)
農業施設 1か所(茶屋)

◆町造林事業 1309万円

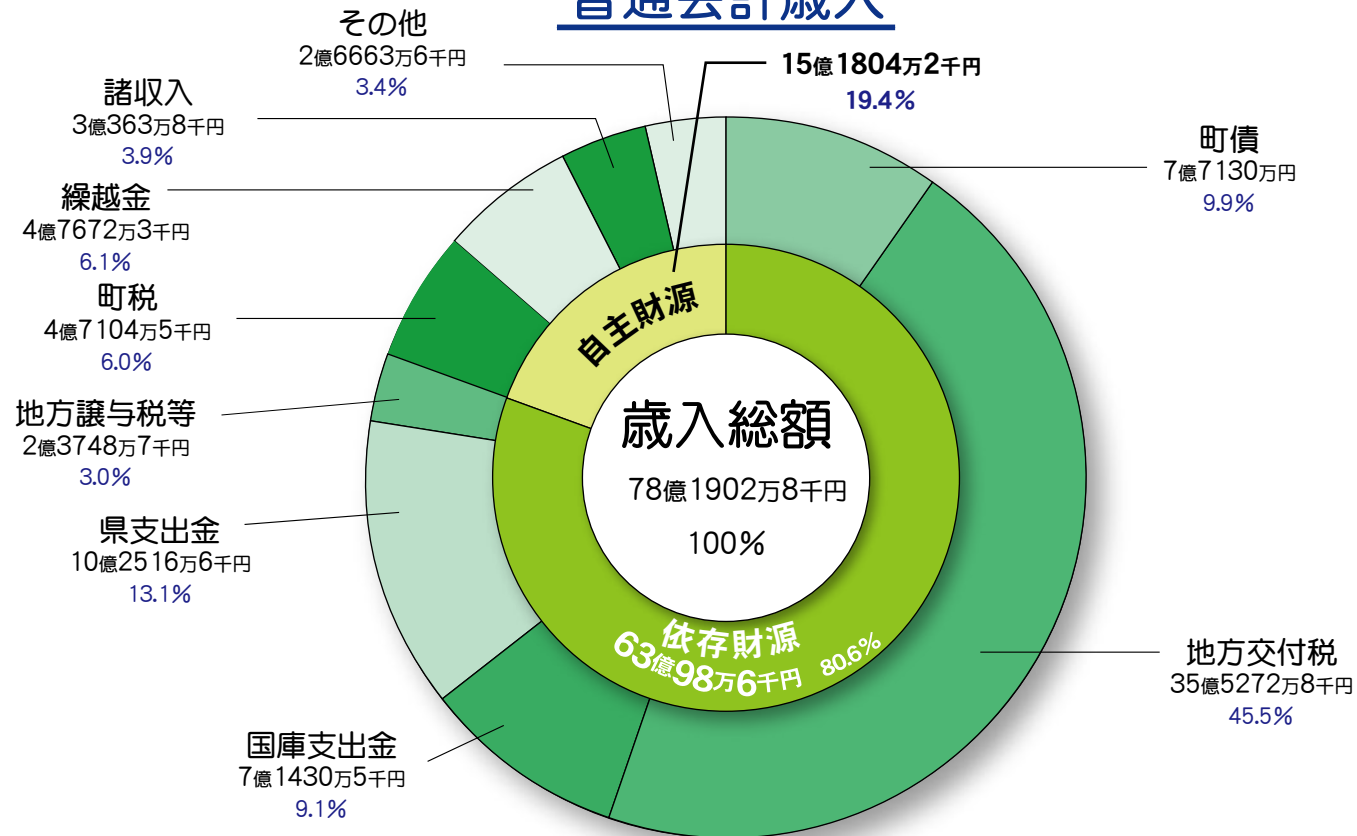
日南町森林組合保有のJークレ
ジットを2000t取得し町保有ク
レジットとして販売する。
Jークレジット制度の改正により
新植と下刈りによる新たな取得が
可能になる見込みから、プロジェク
ト妥当性確認を行い、取得に向けた
取り組みを進める。

日南町議会の9月定例会は、9月6日から28日までの23日間の会期で開かれました。
一般質問では、5人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。
執行部から提案された日南町職員に対する条例の一部改正及び条例の制定、人権擁護委員及び固定資
産評価審査委員の人事案件、令和4年度各会計補正予算、令和3年度各会計決算認定など全21議案は原
案のとおり可決しました。
また、「安倍元首相の国葬中止を求める決議」を全会一致で議決しました。
(審査報告は7ページに掲載)

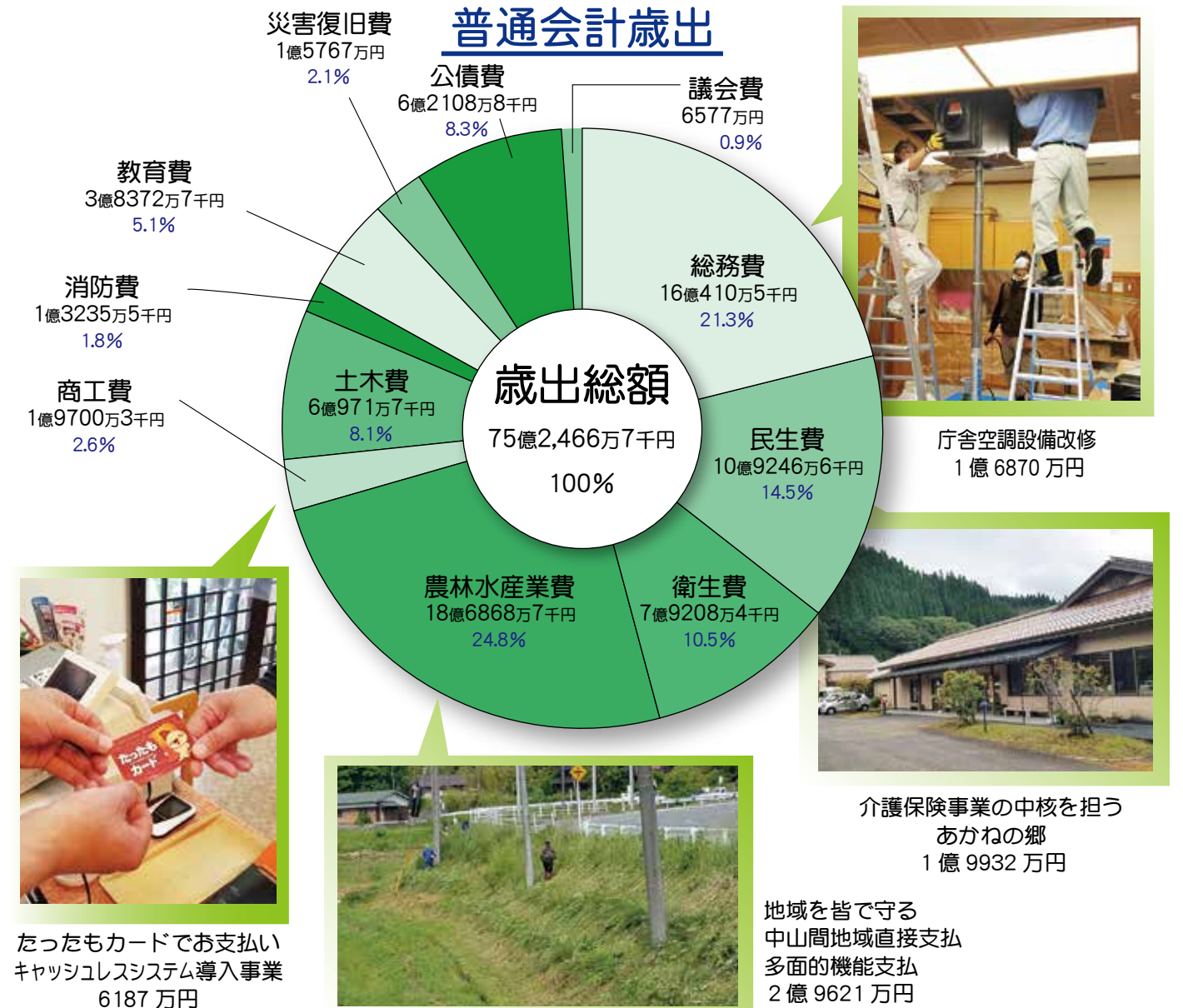
令和3年度決算を認定

9月定例会に提案された令和3年度一般会計などの決算認定議案は、一部の会計で賛否が分かれていましたが、全議案が認定されました。（関連記事は6～10ページ）

普通会計歳入



普通会計歳出



普通会計・各特別会計の決算状況

会計別	決算		差引残額
	歳入総額	歳出総額	
普通会計	78億1902万8千円	75億2466万7千円	2億9436万1千円
国民健康保険特別会計	6億9747万2千円	6億9737万0千円	10万2千円
介護保険特別会計	9億4444万4千円	8億7463万6千円	6980万8千円
介護サービス事業特別会計	5325万8千円	5325万8千円	0円
後期高齢者医療特別会計	8887万7千円	8859万0千円	28万7千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	1182万0千円	245万9千円	936万1千円
合計	96億1489万9千円	92億4098万0千円	3億7391万9千円

一般会計と普通会計の違いとは？

通常、日南町の「一般会計」で予算化しているものは、決算もその内容で整理します。一方で、地方公共団体の決算状況をより具体的に分析するために、全国統一のルールを用いて整理する会計区分を「普通会計」と言い、そのルールに従って整理します。具体的には、令和3年度の総額は病院補助金187万1千円の繰出を除外したものになっています。

各企業会計の決算状況（令和4年3月31日現在）

会計別		決算		差引残額
		歳入総額	歳出総額	
簡易水道事業	収益的収支	1億6980万9千円	1億4225万6千円	2755万3千円
	資本的収支	7597万0千円	8427万0千円	△7667万3千円
下水道事業	収益的収支	1億8064万9千円	1億5830万8千円	2234万1千円
	資本的収支	1079万5千円	8228万0千円	△7148万5千円
病院事業	収益的収支	12億4582万0千円	11億9313万9千円	5268万1千円
	資本的収支	9790万3千円	1億1867万0千円	△2076万7千円

令和3年度決算の監査委員意見(要旨)



代表監査委員 高見 正司

監査委員 岩崎 昭男

未収金の徴収について 全般的事項

決算附属資料である「主要施策の成果及び財産に関する調査」の事業成果項目については、会議等の開催回数などの数値や事業内容までしか記載されていない。当該事業により、どのような成果があったのか積極的に示されたい。

基金管理事務

令和2年9月から開始した基金の「一括運用」で生じた利金等の積み立てにより、令和3年度の預金利息と債券の運用収益の総額は957万2989円となった。預金利率が下がっている中、一括運用の成果が表れたことを評価する。

賦課徴収事務

未収金取組み会議は2回開催された。しかし、打開策が集約・実行できておらず、目立った成果は示されなかった。県及び西部地区での包括的な対応も含め検証と方向の手立てを整理していく必要を感じる。

また、令和3年度をもって納税組合を廃止したが「滞納を未然に防ぐ効果」がなくなったことにより滞納者の増加が懸念される。適宜、未納者を把握され滞納防止を図られたい。

商工総務一般管理事務

今年2月にキャッシュレスシステムがスタートした。7月までに日南町内において「たったもカード」で買い物された総額は、1億2000万円となっている。カードの認知度も高くなっており、消費者や店舗にとって高い評価を得ている。今後さらに利用促進を図り、「町内でお金が回る」仕組み作りに取り組んでいきたい。

高齢者生活福祉センター 管理運営事務

かすみ荘は平成3年春に竣工したが、平成31年度に利用を休止し、施設の在り方の検討が始まった。以後施設の維持管理のみの事業となっている。

構造は鉄筋コンクリート造平屋建てで、耐用年数の範囲内であるが、施設の建て替えには、隣接する崖の工事が必要と聞く。施設の利活用については、廃止も含め結論を出していくべきと考える。



方針決定が求められる「かすみ荘」

スマート農業社会実装 促進事業

当事業の補助対象事業者は認定農業者に限らず集落営農組織や任意組織も含まれている。しかしながら、町からの事業周知や説明は認定農業者及び農事組合法人に対してのみ行われていた。新たな助成制度が創設された場合は補助対象事業者への事業周知に公平を期されたい。

令和3年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

比率名	比率の内容	判定
実質赤字比率	一般会計の赤字の程度を指標化し、財源の規模と比較して指標化	黒字で良好
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、財源の規模と比較して指標化	
実質公債費比率	借入金の返済額を指標化し、標準財政規模と比較指標化(25%以下)	6.8%で良好
将来負担比率	借入金残高や将来支払うべき負担等を指標化した、財政の圧迫度	マイナスで良好
資金不足比率	公営企業の資金不足と、料金収入と比較して指標化	資金不足なし

日南町の財政は黒字経営であり、将来負担額に対して充当可能財源が上回っているため、借入金の返済も将来財政を圧迫する可能性は低いということになります。

決算審査特別委員会の審査報告

令和3年度一般会計をはじめ各会計の審査をするために設置しました。(議長を除く9人で構成、委員長・久代安敏議員、副委員長・古都勝人議員) 9月8日から20日までの間で詳細な審査を行い、その結果、次の意見を付していずれの決算議案も認定すべきと決定しました。

総務課

【一般管理事務】

ファイリングシステム研修を実施されているが、システムが十分機能しているとは言えない。町民から提出された補助金申請書が約3ヶ月間放置されていた事例があったが、情報の共有や業務の執行が円滑に行なわれるようファイリングシステムの有効活用に取り組まれない。

総務課・農林課

【一般会計の歳入と基金】

【林業後継者育成対策事業】 森林環境譲与税により積み立てられた森林整備基金の明確なビジョンを示すとともに、森林環境譲与税の使途を会計年度独立の趣旨に沿って分り易く明示されたい。

企画課

【地域振興センター管理事務】

地域振興センターに地域担当職員を配置しているが役割が曖昧で機能しているとは言い難い。所期の目的が達成されるよう職責や位置づけを明確にされたい。

【行財政改革】

自立改革推進本部が担当する行財政改革の取組みが不十分である。各課への指導、協議が出来ていないほか進捗の取りまとめも年度内に出来ていない。計画の点検と実行をされたい。

農林課

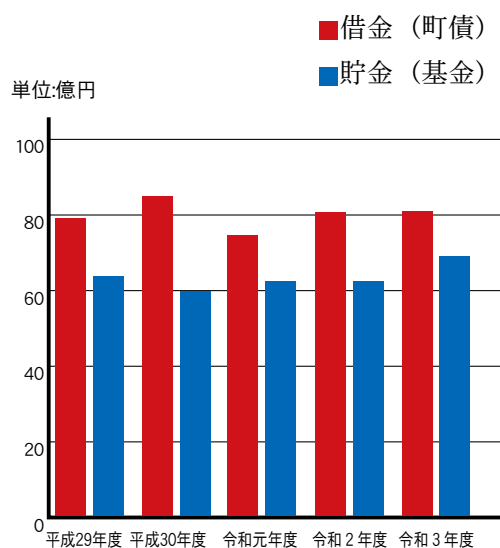
【森林保全総合対策事業】

J-クレジットの保有量、売上の収入及び使途を年度毎に明示されたい。



求められる環境譲与税の有効活用

借金・貯金はどれだけある？



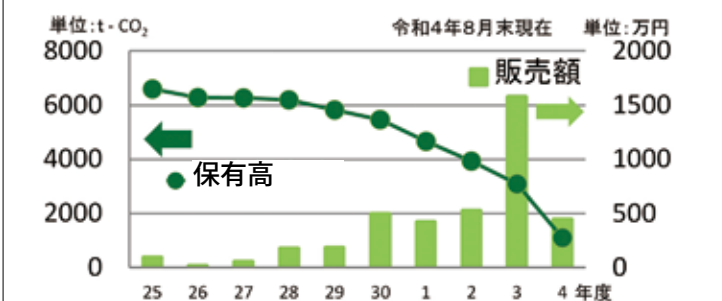
令和3年度末の日南町の借金(町債)は、81億7,902万円あります。

一般会計と特別会計の合計額。(事業会計を除く)

貯金(基金)は、68億8,659万円あります。

町民1人あたりで計算すると、借金は194万円で、貯金は163万円となります。

(人口は令和4年3月31日現在4,212人)



町有林J-クレジットの販売額と保有高(8000円/t)

もっとくわしく質疑応答 決算認定など

令和3年度決算認定
の質疑を行いました。

森林環境贈与税

問 使途は。
答 森林所有者の移行調査と新植経費を支援してきた。持続可能な林業のための使い方を検討する。
問 町が自由に使える財源であり、まず町長の考えを前面に出すべきでは。
答 会議の中で町がやりたいテーマを決めて地域住民の声を聴き、合意形成を図る。

企業版ふるさと納税

問 計画では5年間の目標額は15億円であるが3年度実績は220万円であった。この乖離をどう考えるか。
答 情報発信に努め、これから拡大していく。
問 どんな事業に対してどんな企業が納税したのか。
答 新植、皆伐などへの資金提供を求め、東京と千葉に本社を持つ企業が納税した。
問 環境の町をもっとアピールしては。
答 企業の考え方とマッチ

ングさせて特徴作りに磨きをかけていく。

会計管理

問 ダイワネクスト銀行へ預金した意図は。
答 1億円以上の債権を購入すると、1億円の1年定期預金の利率が1%になる。
特定地域づくり事業協同組合
問 設立に向けて検討したか。
答 ショートタイムワークなど仕組みづくりをしている。人手不足の解消という大枠の中で考えていく。

産業振興センター

問 町の委託料で運営しているが、残金の扱いは。
答 残金は翌年度へ繰越し調整している。

指定管理の施設

問 ゆきんこ村、道の駅直売所、日南邑が大幅な赤字だが。
答 観光、飲食が主体なのでコロナの影響が大きい。将来について意見交換が必要である。

教育に関する点検・評価

問 目標に対する評価が低

いが。

答 非認知能力が弱く、自己肯定感が低い。こども園で0才から非認知能力を高めていく。

問 町長の考えは。
答 ワンランク上がるよう行政側も手伝う。

社会教育

問 従来の公民館制度の方が良かったとの意見もあるが。
答 生涯教育、町民大学など色々な催しがある。充実のためあり方を精査する。



みんなで学ぶ 町民大学

予算の未執行

問 未執行額が4億7800万円ある。事業計画を実行し、日南町の魅力を発信できているか。
答 4年度から観光や移住定住を新法人で進めている。政策規模が限られる中、関係人口の増加に努力する。

職員の健康

問 健康状態は。
答 健康で2割が異常なし。他は、経過観察、要検査など。
問 ストレスチェックの結果は。
答 心の病を持つ職員が少なからずいる。管理職がフォローしたり産業カウンセラーに相談している。

公共施設等の管理

問 公共施設等総合管理計画に大規模改修があるが実行できるか。
答 課題のひとつ。既存の計画が現状と合っていない。見があるが。
問 活用について内部で協議する。
問 公共施設の床面積20%縮減の目標は実態と合っていないのでは。

答 財政上この目標を目指す。

女性の人權

問 女性活躍以前に女性の基本的人權とあるが。
答 国や企業で地位のある人が女性軽視、蔑視の発言をする。また、選択的夫婦別姓が議論にもならない。日本社会が女性の人權を重視していない。

防災用ドローン

問 活用実績は。
答 3年度中はない。訓練での活用を計画していたが中止になった。火災や災害現場の現地確認などに使いたい。

電算管理

問 基幹系の端末はどのくらい減ったか。
答 3年度中は減らしていない。今後、166台を6割〜7割にする。

問 DX（デジタル化推進）チームの活動は。
答 事務局含め25人のチームを結成し、2回会合を開いた。情報化推進計画とアクションプランを見直した。

問 住民の利便性向上への取り組みは。
答 随時検討する。

グループホーム虹の郷

問 経営実態は。
答 障がい者グループホーム7室、有料老人ホーム9室がほぼ満室である。
問 健全経営か。
答 黒字である。運営しているNPO法人あかり広場の決算が公開されている。



グループホーム虹の郷

答 定めていない。3年度は2年度比1200人増だった。キャンプやログハウス利用者が多い。

問 観光案内所の体制は。
答 3人体制だったが1人退職して2人体制になった。

ごみ処理広域化

問 西部広域行政管理組合の負担金の内、ごみ処理施設建設費の内訳は。
答 広報費など。西部圏域全体で880万円を均等割2割、人口割8割で負担した。

ストマ用装具への補助

問 給付状況は。
答 18人が利用している。給付上限月額が畜尿袋1万1639円、畜便袋8858円である。
問 1割を超える自己負担をしている人は。
答 3人が月額700円、7000円を負担している。今後、基準額の検討も必要である。

人工透析の通院

問 通院先は。
答 通院が必要な患者14人の内、日野病院が7、8人でその他は米子の病院である。
問 日野病院への送迎は。

答 生山駅発着での送迎を検討中である。

特別障がい者手当

問 支給状況は。
答 3月末時点で6人が受給している。内、要介護4が2人、要介護5が2人である。

問 ケアマネジャーから受給を勧めては。
答 在宅支援会議で勉強会をしてケアマネも認識している。相談は微増している。

問 生理用品受け取りの希望がなかったとのことだが、宣伝不足では。
答 チラシを配ったり、高校へ行ったりした。

問 試験的にでも公共のトイレに置いては。
答 トイレにはメッセージカードを置き、窓口で無言で受け取れるようにした。再度検討する。

おでかけタクシーチケット

問 交付枚数の46%が使われていない理由は。
答 家族の支援などがあり利用する必要がなかった。
問 有償福祉タクシーに使用せず、遠距離で使いにくいなど、不公平感が大きいのか。

では。
答 ドア・ツー・ドアが始まる中で見直すなど検討したい。

堆肥生産

問 生産量は。
答 約1400トンで、足りないとの話はない。

問 民間の堆肥センターの活用は。
答 町のたい肥センター副資材などが違うが連携していく。

問 皆伐、新植の実施面積が計画より少ないが。
答 急峻な現場で応札がなかった。

問 3年度実施は3.4haで計画未達である。10歳級での皆伐、新植は現実的か。
答 5年に一度計画を見直す。今後考える。

町造林事業

問 皆伐、新植の実施面積が計画より少ないが。
答 急峻な現場で応札がなかった。

問 3年度実施は3.4haで計画未達である。10歳級での皆伐、新植は現実的か。
答 5年に一度計画を見直す。今後考える。



オオサンショウウオの生息調査

地籍調査

問 リモートセンシングの地域を増やせるか。
答 杭を打たないことへの、地元の合意があればできる。

しっかり守る 農林基盤交付金

問 小規模農業者でも対象になるか。
答 小規模農業者3件に交付し、暗き排水や農道などを整備した。

問 畦畔の修復は。
答 県の基準があるので相談して欲しい。

問 オオサンショウウオ保護
答 保護指針策定は。指針案と生息状況に齟齬があるので、生息調査がすべて終わってから指針をまとめる。

9月定例会可決・認定した議案

○可決した議案

令和4年度補正予算	一般会計補正予算(第3号)
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	簡易水道事業会計補正予算(第1号)
	下水道事業会計補正予算(第1号)
	一般会計補正予算(第4号)
制条例の改定	日南町職員の育児休業等に関する条例
正部の改定	日南町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例
その他	日南町人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて(1件)
	日南町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(3件)
令和3年度決算認定	一般会計
	国民健康保険特別会計
	介護保険特別会計
	介護サービス事業特別会計
	後期高齢者医療特別会計
	再生可能エネルギー発電事業特別会計
	簡易水道事業会計
	下水道事業会計
発議	病院事業会計
	安倍元首相の国葬中止を求める決議
	農業資材等価格高騰対策を求める意見書提出について

……賛否の分かれたもの

討 論

〔反対〕大西 保議員

森林組合からJ-クレジットを購入する財源は、森林環境譲与税を充てるべきである。

〔賛成〕近藤仁志議員

森林環境譲与税は、林業人材育成などに活用されており、一般財源の支出は妥当である。

採 決

○賛否内訳

大西保	岩崎昭男	櫃田洋一	久代安敏	近藤仁志	荒木博	古都勝人	岡本健三	坪倉勝幸	山本芳昭
×	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。



発電を再開した新石見小水力発電所

令和3年度 決算認定

討 論

一般会計

〔反対〕岡本健三議員

正職員と会計年度任用職員の手当などの格差を改善するべき。プラスチック資源循環促進法に基づきゴミ施策の抜本的な見直しをすべきである。

〔反対〕久代安敏議員

米価暴落に行政の具体的支援策がなかった。森林環境譲与税を有効利用する方策がない。町有車両の車検切れの件は行政のモラルハザードである。

〔賛成〕坪倉勝幸議員

予算の執行率、投資的経費比率が低くなっている。事業が予定どおり執行されていない面もあるが、おおむね妥当な決算である。

国民健康保険特別会計

〔反対〕岡本健三議員

18歳以下の均等割課税を止めるべきである。新型コロナウイルスに感染による傷病手当は、事業主も対象にすべきである。

〔反対〕久代安敏議員

被保険者の生活が厳しいなか、3億600万円ある財政調整基金を使って、保険料を引き下げるべきである。

〔賛成〕荒木 博議員

経常収支が赤字のなか、基金繰り入れにより適切に経営されている。子どもの均等割課税の免除は町ではなく、県組織で議論すべき。

介護保険特別会計

〔反対〕岡本健三議員

介護報酬の引き上げにより利用料が高くなっている。介護給付準備基金を使ってでも町が利用料を引き下げるべきである。

〔賛成〕近藤仁志議員

少子高齢化が進行する中で基金の取崩しは慎重であるべき。介護予防、健康増進の取り組みは大いに評価できる。

後期高齢者医療特別会計

〔反対〕岡本健三議員

後期高齢者だけを被保険者として、負担増を押しつけると共にリスク分散しにくい保険制度を改めるよう国に働きかけるべきだった。

〔賛成〕櫃田洋一議員

高齢化が進む中で医療の安全や質を落とさずに安定した運営ができる制度である。

○令和3年度決算認定の賛否内訳（賛否の分かれたもの）

件 名	結果	大西保	岩崎昭男	櫃田洋一	久代安敏	近藤仁志	荒木博	古都勝人	岡本健三	坪倉勝幸	山本芳昭
一般会計	認定	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
国民健康保険特別会計	認定	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
介護保険特別会計	認定	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
後期高齢者医療特別会計	認定	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—

※山本芳昭議長は議長のため、賛否の表明はしません。

もっとくわしく質疑応答 補正予算

電算管理運営

問 宛名サーバーは来年のいつまでに更新が必要か。

答 令和5年10月までに更新導入する工程で全ての自治体が準備している。

問 使用できる機器を1年前倒しで更新するというのはもったいない気もするが。

答 ソフトが令和5年10月でサポート終了になるので今年度中に購入して、令和5年10月の運用に備える。

文書管理

問 個人情報ファイル作成業務委託費用400万円の内訳は。

答 初期導入経費であり、来年度からランニングコストが月に15000円かかる。

令和4年度補正予算等の質疑を行いました。

大宮分団機庫新築工事

問 材料・資材費が高騰しているが、176万円の増額で大丈夫か。

答 設計事務所で積算され、中身も精査し可能である。

問 設計事務所の出された単価に問題があると聞か

答 精査している。



改築前の機庫

町造林事業

問 Jークレジットの購入を森林環境譲与税で購入したらどうか。

答 森林環境譲与税は、人

農業者応援特別支援

問 981haは、転作も含めた面積か。

企業支援対策

問 任意団体と農業者は対象になるのか。

答 町内で営利を目的として事業を営む法人、団体、個人が対象。ただし、個人農業者は含まない。

問 企業支援対策は理解できず、農業者も含め門戸を広く開くべきでは。

答 コロナで大きく影響を受けた方という趣旨であり、農業の個人事業主は対象外。

燃油高騰対策

問 燃油高騰対策支援補助金は、運輸業者に限らず間口を広げては。

答 誰もが影響を受けているが今回は運輸業者が対象。

問 林業者もトラックで営業しているので含めては。

答 林業事業者の中には、価格転化できている部分もある。

問 20tのトレーラーと4tのトラックの燃費には、大きな違いがあるか。



燃油高騰に苦慮する運輸業者

陳願の審査結果と討論

提出のあった陳願は、9月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。
なお、賛成・反対とあるのは、陳願の原案に対する討論と採決の結果です。

令和4年陳願第7号	提出者	審査意見	本会議
セントラルファーム(株) 鳥取農場の操業停止を 求める陳情	鳥取県農民運動連合会 銭神山川農業用水関係者 地権者代表 矢田貝 茂人 ほか7名	町は陳情者の思いを真摯に受け止 め、養豚事業の操業中止と土地の購 入に向けた交渉を速やかにされたい。	採択
反対 岩崎昭男議員 用地などの購入金額もわからないなか、陳情を採 択することは、議会として責任が持てない。町の取 得交渉の推移を見ながら結論を出すべきであり、継 続審査とするべきである。 反対 櫃田洋一議員 上原ファームから新しい会社に譲渡されたとの事 だが、明確な根拠がない状況で養豚事業の中止を求 めるべきではない。継続審査とするべきである。 (岩崎、櫃田、荒木、古都)		賛成 岡本健三議員 養豚場は、50年に亘り住民の生活、営農および 生態系に悪影響を及ぼしてきた。今必要なのは、養 豚事業の中止と町による用地の取得、環境汚染の調 査である。 賛成 近藤仁志議員 陳情者の長年の苦労を思うとき、早期の解決を図 るべきである。新しい会社が養豚事業を再開する前 の今の時期に交渉を開始するべきである。 (大西、久代、近藤、岡本、坪倉)	

令和4年陳願第8号	提出者	審査意見	本会議
会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 ほか1名	短時間勤務の会計年度任用職員にも勤勉手当の支給と処遇改善促進に向けた財源の確保については理解できるが、任期の定めのない短時間勤務職員制度の導入については、更なる検討が必要である。	趣旨採択
反対（討論なし） （大西、岩崎、櫃田、近藤、荒木、古都、坪倉）		賛成 岡本健三議員 正職員と会計年度任用職員の待遇には大きな格差がある。会計年度任用職員の処遇改善と雇用の安定のために、この陳情を採択すべきである。 （久代、岡本）	

農業資材等価格高騰対策を求める意見書 (要旨)

- 1.農業において肥料等の資材及び燃料の高騰対策を早急に講じられたい。直接的な国の財政支援を求める。
- 2.肥料等の安定供給および価格高騰に対応するセーフティーネットを構築すること。

安倍元首相の国葬中止を求める決議 (要旨)

岸田首相は安倍元首相の葬儀を国葬とし、令和4年9月27日に日本武道館で行うことを閣議決定した。しかし、戦前の国葬令は1947年に失効している。

- 1.総理大臣を憲政史上最長の8年8か月務めたこと
- 2.経済・外交など歴史に残る業績を残したこと
- 3.諸外国から敬意と弔意が示されていること
- 4.選挙活動中の非業の死であり暴力には屈しない国として毅然とした姿勢を示すことを理由に挙げているが、国葬について現在、明確な法的根拠がなく国民の賛否も二分されており、歴代首相の葬儀の実情を鑑みれば、国葬を中止すべきである。

よって、日南町議会は安倍元首相の国葬中止を求め、ここに決議する。

問 地方創生推進の取り組みは

答 企業連携による
新たな町づくりと人口減少の抑制



近藤仁志 議員

問 タクシーの夜間、日曜日運行は

答 引き続き要望を行っていく



檀田洋一 議員

- 問** 地方創生の推進
- 総合計画、総合戦略から具体的な地方創生の取り組みが見えないが、町長の考える地方創生と急がれる具体的取り組みは。
- 答** 中村町長
- 企業連携による新たなまちづくりの可能性と、魅力を感じさせるコンパクトレジン構想の実現。定住対策など人口減少を抑え、持続可能なまちづくりを目指す。
- 問** 農業の現状と課題解決
- 社会情勢の予期せぬ変化による米価の下落、資材の高騰により、中核農家すら離農を検討する声が聞かれるが。
- 答** 町長
- 農業に限らず商工業や一般家庭まで影響が出ている。国県と連携しながら町も独自の支援を検討する。
- 問** 獣害対策
- 獣害被害が農家の負担を増やし、やる気を減退させている現状の対策は。
- 答** 町長
- 日野郡鳥獣被害対策協議会を中心に関係機関と連携しながら、集落全体で考える取り組みを支援していきたい。

- 問** 日時限定タクシー
- 夜間や日曜日に運行されないタクシーをどのように捉えているか。
- 答** 中村町長
- 夜間、日曜日の運行は利用者が少ないこと。ドライバー、点呼係の確保や採算性の観点から困難であるという回答。非常に重要な課題であると認識している。引き続き夜間、日曜日の運行を事業者へ要望していく。
- 問** 運行改善を
- 町民からタクシーの運行改善を求める声が多数ある。緑ナンバーの交付を受けて事業されている以上は使命感を持って事業されるべきでは。
- 答** 町長
- 基本的にはそう思うが、民間の事業体なので限度もあると思う。できる形を模索していきたい。
- 問** たったもカード
- 施政方針で述べられた「町民が安心して暮らせる健全なまちづくり」のためにも、たったもカードをバス、タクシーで利用できるようにするべきでは。

- 問** 経営体の能力向上
- 一経営体が受け持つ面積が増えている。設備の拡充が必要となっていると考えられるが。
- 答** 町長
- 規模拡大による設備の充実は必須の条件であるが、地域の実情を踏まえて必要な支援を行う。
- 問** もみ殻燐炭の活用
- もみ殻燐炭を土壌改良剤として還元することでCO2削減実績をJ-クレジット制度で販売。また、環境保全型農業支援対策事業の対象となり、収入の増加に繋がると考えるが。
- 答** 町長



山並みを望む棚田

- 問** 町長
- 通信状況によっては決済ができない場合があり、解決策を導入事業者と検討している。
- 問** 園・小・中一貫教育
- 一貫教育のメリットは。
- 答** 青戸教育長
- 一貫してこども園・小学校・中学校と段階的に学ばせることが一番のメリット。
- 問** 日南学とは
- 教育長
- 子どもたちと町民みんなが関わり合いながら教育を行うコミュニティスクールを目指し、3本の柱を中心に研究実践。
- 答** 教育長
- 一つ目は学び続ける力。子どもたちが主体的に学習に取り組むことを重視し「非認知能力」を身に付けることを目指す。
- 二つ目は関わりあう力。コミュニケーション能力や思いやりなどの社会的スキル。
- 三つ目はふるさとを愛する心。ふるさとへの愛着や誇りを培い将来地域に貢献できる大人へ成長していく可能性を育む。

- 問** 基礎学力の現状と取り組み
- 基礎学力の現状と一層の向上に向けた考えは。
- 答** 教育長
- 学力調査等の結果、全国平均と同程度または下回る学年が多いが、全ての教科で全国平均を上回る学年もある。学力向上は常に中心課題であり、継続的に取り組んでいる。併せて学びに向かう力や思考力、判断力、表現力などの資質・能力もしっかりと育てていきたい。
- 問** 青戸教育長
- 子どもたちがガイドとなり学んだことを伝える活動は、表現力や実践力、コミュニケーション能力等が高まることも期待される。活躍できる場が増えることは、子どもたちにとって望ましい。関係団体等と連携するなど、可能な形を検討していきたい。
- 問** ふるさと教育
- ふるさと教育の一環として、ガイド養成講座などを取り入れ実践することで、コミュニケーション能力の向上と郷土愛がより強くなるのでは。
- 答** 教育長
- もみ殻の燐炭やバイオ炭はみどりの食糧システムにも通ずる部分であるので、先進地の事例も参考にして活用を検討する。



あそびは楽しい

- 問** 『非認知能力』
- 非認知能力をどのように身に付けるのか。
- 答** 教育長
- 「非認知能力」とは、意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった測定、数値化できない能力である。「実体験」本物の取り組みをする。その場に行き触ったり、観察する。また、大人がモデルになって見せてやる。AIの時代になっても大工さんの技術はなくなる。

町政のここが聞きたい

問 上原ファームに買収費用の負担を求めては

答 買収のあり方も含め勉強していく



岡本健三 議員

問 住民からの陳情にどう対応するのか

答 真摯に受け止め関係者と協議して進める



大西 保 議員



買収の方針と決めた養豚場

問 買収交渉中の営業
交渉には時間がかかる。その間、豚を飼わせないようにはできないか。

答 町長
買収のあり方も含め、法的な解釈が必要なので勉強していく。

問 重大な責任
十分な協議なく他企業へ譲渡した上原ファームの責任は重大。買収費用の一部負担などを求めては。

答 中村町長
譲渡先との話し合いの中で補償金加わってくる可能性はある。

問 セントラルファーム問題
譲渡先企業は農場を営業するために購入したはずなので、町の買収には土地施設代の他に営業損失補償金が必要になるのでは。

問 操業中止等を求める陳情
地域住民から町長に提出された陳情（操業中止及び土地を町が購入）について、どのように対応されるのか。

答 丸山副町長
「今後の事は新しい会社と話をしてほしい」との回答であった。12月末までは、今の豚がいる間は上原ファームが運営していくと言われた。

問 本社での会談内容は
もう少し具体的な内容で、どのような方向付けになったか。

答 中村町長
6月21日の上原社長との面談で初めて知った。譲渡予定先とは6月27日に対面した。7月11日に住民から陳情書を受け、8月17日に宮崎の本社に丸山副町長が出向き町への譲渡を伺った際、すでに次の会社へ譲渡契約は完了しているとの回答があった。

問 セントラル農場の売却譲渡
売却譲渡について最新の状況と、いつ売却することを知られたのか。

答 町長
住民皆さんの要望を真摯に受け止め、今後の対応を関係者と協議して進める。

問 難聴に関するアンケート
昨年の12月定例会で今年度の高齢者ニーズ調査に盛り込むとの答弁だった。いつ頃どのようなアンケートをする予定か。

答 町長
先日国から高齢者ニーズ調査の項目が示された。町で調査内容の検討を行い、今冬に実施する。

問 統一協会
過去に町長や町職員が公人として統一協会や関連団体のイベントなどへ参加などしたことがあるか。

答 町長
参加などした事実は確認できない。今後も公的に関わることはない。

問 安倍元首相の国葬
国葬に際し、庁舎や学校などで弔意を表すために半旗掲揚や黙とうを行うか。

答 町長
12月末までに豚を0頭にする。その後のことは譲渡先に確認していく。

問 飼育頭数の推移
5月末から8月末の飼育頭数は。

答 町長
県からの指摘事項が改善されていないため、検討会の開催に至っていない。農場の改修・進捗管理をみながら県と連携し、開催について協議をしていく。

問 購入の財源
購入する財源は、どのようなになっているのか。

答 町長
町が保有しているグリーンシヤインの株の一部を売却して財源に充てたい。

問 購入単価と販売単価
補正予算では1千100万円を計画しているが、購入単価と販売単価をいくらで考えているのか。

答 町長
購入単価を5千円、販売単価を8千円と考えている。

問 J-クレジットの購入
森林組合からJ-クレジットを2000t購入する予定と6月の一般質問で答弁されたが、購入時期はいつ頃なのか。又、町有林の新規申請の状況は。

答 町長
9月補正後に購入を検討している。また、新規申請については令和5年度中を検討している。

問 給食費無償化
6月定例会で総合教育会議で議論すると答弁があった。進捗状況は。

答 町長
8月24日の総合教育会議で給食の無償化について意見交換した。保護者への経済的支援の現状、保護者の意見、財源等について議論し課題を整理した。今後、9月に保護者と意見交換、10月に教育委員会と協議し、次回総合教育会議で引き続き検討する。

問 熱回収はリサイクルでない
4月施行のプラ資源循環促進法制定の議論で熱回収はリサイクルではないとの国の見解が示された。これを認識しているか。

答 町長
町では軟プラやPETボトルは既に分別回収している。硬質プラが問題である。

問 ごみ処理基本計画
焼却処理をしていない自治体の例や、紙の焼却によるCO2排出など情報を集めて再検討しては。

答 町長
基本的に資源を再利用する考え方はある。大局的な捉え方は誰もが持っている。

問 購入単価と販売単価
補正予算では1千100万円を計画しているが、購入単価と販売単価をいくらで考えているのか。

答 町長
購入単価を5千円、販売単価を8千円と考えている。

問 J-クレジットの購入
森林組合からJ-クレジットを2000t購入する予定と6月の一般質問で答弁されたが、購入時期はいつ頃なのか。又、町有林の新規申請の状況は。

答 町長
9月補正後に購入を検討している。また、新規申請については令和5年度中を検討している。

問 給食費無償化
6月定例会で総合教育会議で議論すると答弁があった。進捗状況は。

答 町長
8月24日の総合教育会議で給食の無償化について意見交換した。保護者への経済的支援の現状、保護者の意見、財源等について議論し課題を整理した。今後、9月に保護者と意見交換、10月に教育委員会と協議し、次回総合教育会議で引き続き検討する。

問 熱回収はリサイクルでない
4月施行のプラ資源循環促進法制定の議論で熱回収はリサイクルではないとの国の見解が示された。これを認識しているか。

答 町長
町では軟プラやPETボトルは既に分別回収している。硬質プラが問題である。

問 ごみ処理基本計画
焼却処理をしていない自治体の例や、紙の焼却によるCO2排出など情報を集めて再検討しては。

答 町長
基本的に資源を再利用する考え方はある。大局的な捉え方は誰もが持っている。

問 購入単価と販売単価
補正予算では1千100万円を計画しているが、購入単価と販売単価をいくらで考えているのか。

答 町長
購入単価を5千円、販売単価を8千円と考えている。

総務教育常任委員会 7月14日、9月15日、26日

観光振興事業の取り組み状況（企画課）

◆サイクリング周遊事業
電動アシスト付き自転車を9月末に8台（予算額約180万円）を購入し、最終的には20台になる。町内12カ所にサイクルスタンドを設置。



◆福万来ホテル乃国
3年ぶりに7月1日～10日までの10日間実施し、完全予約制。来場者数は904人で、令和元年度4500人対し80%減。
◆日野上イチョウ事業
シャトルバスの発着点として、道の駅にちなみ日野川の郷にする。

町有財産の現況(総務課)

おおくさ荘の活用やまなび宿はなぐちの売却等についての質疑を行った。

環境関連の計画策定(住民課)

令和5年4月から始まる第4次日南町環境基本計画（グリーンドリーム計画：仮称）の作成に当たり、説明を受けた。

新石見小水力発電所復旧工事(住民課)

導水路復旧工事が完了し、9月末ごろに発電が再開出来るとの報告を受けた。

公共交通（企画課）

◆町営デマンドバス車検切れの行政指導終了
鳥取運輸支局からの「輸送安全確保命令書」を受け、3点の改善指示事項が認められ、行政指導が終了した。
◆デマンドバスドア・ツー・ドア運行
10月からの運行に向けて、準備を進めているとの報告。

町政のここが聞きたい

一般質問
問と答

問 物価高騰対策は、
すべての事業者に

答 今後も状況を把握し、
必要な支援を行う



久代安敏 議員

問 新型コロナウイルス感染状況は
オミクロン株の第7波が全国的に猛威を振るっているが日南町内の感染状況はどうなっているか、情報の開示を。

答 中村町長
7月以降の全国的感染拡大の中、鳥取県も8月中旬以降1日あたり千人を超える感染状況が続いた。本町でも感染者の確認が続いているが、最近では陽性者数一の情報が市町村別で鳥取県のホームページに掲載されている。

問 抗原検査キットを
全戸に配布を

答 町長
現在は、近くの店舗にて購入できるため、全戸配布は予定していない。

問 日南病院のPCR
検査機器の実績は

答 中曾病院事業管理者
日南病院において実施したPCR検査は、令和4年8月末現在の累計で1624件。

問 物価高騰対策
物価高騰対策は法人・個人に

経済福祉常任委員会

農業委員との意見交換会 7月14日

日南町農業の将来ビジョンについて、意見交換を行いました。（抜粋）

議員 水田活用の直接支払交付金の見直しについて農業委員会の取り組みは。
農業委員 日南町農業再生協議会を通じて農林水産省や財務省に申し入れをしていただいている。

議員 人・農地プランによる未整備田の改修や担い手、新規就農者を確保するためにどのような対策をしているか。
農業委員 令和5年4月1日から新しいプランが交付される予定である。

議員 ネオニコチノイド系農薬の使用について日南町の現状は。
農業委員 カメムシなどの殺虫剤に含まれているものがある。除草剤には含まれていないと思う。

農業委員 農業法人も個人の認定業者も利益が出ていなくて人を雇えない。
議員 利益を出すためには優良農地の確保が大切。新規雇用者に対しては社会保険の補助制度もある。

議員 以前、中海テレビで大学生の農業体験の放送を見たが。
農業委員 鳥大生の農業インターンシップ事業に取り組んでいる。

農業委員 農業体験授業は、手作業だけでなく農業機械の体験も取り入れてもらいたい。
議員 教育委員会と協議をしてほしい。

問 価格補償
鳥取西部農協が発表したコメの概算金価格は、コシヒカリ30kgで5670円と、2年連続の低米価だ。価格補償対策を考えているか。

答 町長
2年連続の低米価となったが価格補償対策は、価格自由競争社会の中で、根本的な解決にならない。関係者と協議しながら対応策を検討したい。

問 バイオマス発電

答 町長
9月補正において、物価・燃料高騰により特に大きな影響を受けている運輸・交通事業者の事業継続を支援する補助金を交付する。町内の状況を把握し必要な支援を行っていく。農業への支援は、肥料・燃料高騰対策を検討している。

問 価格補償
鳥取西部農協が発表したコメの概算金価格は、コシヒカリ30kgで5670円と、2年連続の低米価だ。価格補償対策を考えているか。

答 町長
2年連続の低米価となったが価格補償対策は、価格自由競争社会の中で、根本的な解決にならない。関係者と協議しながら対応策を検討したい。



日南ライスセンター

問 日南交通
土日祝日に限らず、平日でも日南交通のタクシー運行状況については不満の声が多い。営業時間など町がもっとイニシアチブを発揮すべきではないか。

答 町長
現状からの運行状況の改善は、ドライバーの確保、採算性の観点から困難であるという回答。町も重要な課題であると認識している。代替措置を含め、検討が必要である。

問 NPO法人
NPO法人「夢太陽」の利用者が、おでかけタクシーチケットを利用できないのは何故か。

答 町長
当該事業は、利用者に制限のない一般常用旅客自動車運送事業者の利用を対象としている。

問 町長
第2木材団地で稼働する予定であったバイオマス発電所は、当初の計画が破綻している。現時点の情報公開と町民への説明を求める。

答 町長
引き続き事業の再検討を行っている状況である。より実現可能な計画があれば協議も検討する。

全員協議会

◆**合銀の移転**
(株)山陰合同銀行生山出張所の移転による、庁舎の使用料として、月額46万4825円を徴収する。

◆**8月18日 オロチの火災**
8月7日に発生した(株)オロチの工場火災は、単板乾燥ラインに針金が混入した単板が大量に流れたため発火し火災になった。

◆**7月14日 車検切れの処分**
デマンドバスの車検切れ、自賠責保険切れの件について、中国運輸局鳥取運輸支局及び黒坂警察署からの処分は、いずれも科せられなかった。

◆**7月14日 車検切れの処分**
デマンドバスの車検切れ、自賠責保険切れの件について、中国運輸局鳥取運輸支局及び黒坂警察署からの処分は、いずれも科せられなかった。

所管各課から報告事項や事業の進捗状況などについて説明を受け、質疑や協議を行いました。

追跡

住宅政策及び中心地域調査特別委員会

9月26日・10月12日

民間活用住宅（PFI住宅）整備事業（建設課）

3月18日に事業概要、6月14日に進捗状況の調査をおこなったが、進展が見られない。その後の経過と課題、今後の方針について調査を行った。

民間活用住宅の実績



フォービル 8戸



ヴェルデパセオ 12戸



ヴェルデパセオII 12戸



ヴェルデパセオIII 6戸

募集に対し参加表明はなかったが、興味を持たれた事業者と内容について話し合いをしたところ、三点の課題が見えてきた。

現状の利子補填によるPFIでは年内着工が難しいので、別の方式で令和5年度着工を目指したい。

<課題>

- ・資材高騰など経済状況が不安定で建設に係る資金調達が難しい。
- ・建築戸数が少なく空き部屋発生リスクが大きい。
- ・魅力ある住宅の建設が困難。

<今後の方針>

令和5年度において「地域優良賃貸住宅制度（交付金事業）」を活用し、PFI法に基づきBTO方式で実施する。

【地域優良賃貸住宅制度】

居住環境の供給促進のため、賃貸住宅整備等に要する費用や家賃減額に対する助成を行う制度

(施設整備に係る交付率 事業費の50%)

【BTO方式】

建設・資金調達を民間が担い、完成後は所有権を公共に移転し、その後一定期間運営を同一の民間に委ねる方式

林業アカデミーの住宅整備（農林課）

<6月14日以降の進展>

内部で協議をしているが、報告できる具体的な方向性はない。町長としては、多里地域にアカデミー専用のワンルームタイプの整備を検討している。

<委員の意見>

- ・移住定住とセットとなる部分が多い、町内に点在した古民家の活用も考えるべきだ。
- ・空き室を作らないためにも汎用性を持たせたほうがよい。等々

委員会の意見集約

<民間活用住宅（PFI住宅）整備事業>

結論を急ぐ必要はないので募集を継続しながら、説明のあった地域優良賃貸住宅制度（BTO方式）を採用した応募状況を注視する。現状のPFI住宅整備に応募がないことは理解できるし、分譲地としては狭く適さない。

- ・その他の意見
PFIにこだわらず、安価で入居できる住宅整備を。住宅を求める方は一定数ある。

<林業アカデミーの住宅整備>

買い物、交流等学生からニーズの把握をすべきである。専用の寮は、必要性を感じない。現時点では公共の空き室も多く、今ある施設も活用すべきである。

- ・その他の意見
アカデミー運営上専用の寮があることは強み。安心安全の観点から近くに新築すべき。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。

◆**9月14日 日野郡連携小児科医**
日野郡3町の病院・診療所で小児科医を共同雇用する。日南病院には毎週1日勤務。現行の週2日の診療は継続。



◆**台風11号被害**
9月6日の台風11号の被害状況は、トマトハウス6棟のビニール破損、白ネギ、リンゴなどに被害発生。



高騰する肥料

◆**肥料高騰対策**
農業用肥料の高騰に対して国に財政支援を求めるなどの意見書を提出することに。
(12ページに掲載)

◆**人材確保**
役場のデジタル化推進のため、(株)山陰合同銀行から派遣職員を受け入れる。

◆**人材確保**
役場のデジタル化推進のため、(株)山陰合同銀行から派遣職員を受け入れる。

◆**道の駅の指定管理者**
来年度から5年間の指定管理者について、固定費を1200万円に増額し、地元品売上歩合の率を引上げて(合計で上限2000万円)募集を実施している。

◆**道の駅の指定管理者**
来年度から5年間の指定管理者について、固定費を1200万円に増額し、地元品売上歩合の率を引上げて(合計で上限2000万円)募集を実施している。

◆**道の駅の指定管理者**
来年度から5年間の指定管理者について、固定費を1200万円に増額し、地元品売上歩合の率を引上げて(合計で上限2000万円)募集を実施している。

◆**道の駅の指定管理者**
来年度から5年間の指定管理者について、固定費を1200万円に増額し、地元品売上歩合の率を引上げて(合計で上限2000万円)募集を実施している。



マイナクラフト参加ページはこちら

◆**10月12日 e-スポーツ**
デジタル(仮想空間)で建物などのもの作りが出来るゲーム「マイナクラフト」を小中学生を対象に11月19、20日に実施する。(インターネットで視聴が可能)



(写真右より)
山本 芳昭 議員
古都 勝人 議員
荒木 博 議員

令和4年8月18日、鳥取県西部町村議長会より、町村議長会議員として通算11年以上在職し、功勞のあった日南町議会議員の3氏が、自治功勞者表彰を受けられました。

自治功勞者 表彰

自治協議会との意見交換会

「これからのまち・むらづくり協議会」

8月22日、自治協議会7人（各まちづくり協議会会長等）と議員全員による意見交換会を行いました。

まちむらづくり協議会の活動資金

議会 各まち協の予算（一括交付金、地域活動支援交付金）についての意見は。

自治協 多里では遊四季多里、ハンザケ道場の2つが主な事業で年度ごとに内容を決めて予算をとっている。石見は主に体協関係に使用している。コロナ禍で事業を行っていないところもある。役員のなり手がなく、人材の確保も含めて事業を行える体制作りが必要と考える。

地域のキーパーソン

自治協 災害時における振興センター事務長に対する認識が、センターの鍵を開ける事と言う発言があったが。

議会 避難所の鍵を開けてもらい、総務課の防災担当者が運営に携わることである。

自治協 事務長の災害時における勤務は、役場との連絡のキーパーソンとして活動していただいている。総務課に確認を取りたい。



日南町総合防災訓練 令和4年10月1日（山上）

たったもカードの利用状況

自治協 たったもカードの発行から半年が経過したが、どのような意見が出ているか。

議会 最初にもらったポイントの使用が、チャージしてまではという意見と、多くのお店で売り上げが伸びていると感じられた取り組みだという意見がある。

自治協 カードのポイント保有期間が短い。例えば、健康診断のポイントが受診から1カ月以上経ってから付与される。また、端末からのレシート

企画課 人生学園のような場合はその場でポイントを出している。健康診断については健診結果と一緒に発行しているの遅れが生じている。字の大きさにしては、端末の設定変更が可能かどうか確認をする。

環境問題の取り組み

議会 オオサンショウウオは日南町の象徴だと思いが、具体的な活動方針は。

自治協 川の掃除等いろいろな活動を行っているが、まずは会議に参加していただき現状を知ってもらった上で意見を伺いたい。SDGsの指定都市となっている町として町全体に浸透させるような取り組みが欲しい。

自治協 セントラルファームの譲渡が決まったが、もう日南町には養豚場はいらないのでよろしくお願ひする。

議会 常任委員会で審査をしていきたい。



議会では、住民グループからお声掛けをいただいたら、テーマを問わず意見交換会を行います。

議会活動報告

- （8月）
 - 1、2日、4日、9日 議員研修（オンライン）
 - 3日 鳥取県町村議会広報研修会
 - 18日 西部町村議会議員研修会
 - 23日 自治協議会との意見交換会
 - 29日 議会運営協議会
- （9月）
 - 6、8日、28日 9月定例会本会議
 - 8、9日、12、14日、20日 決算審査特別委員会
 - 8日、28日 議会広報常任委員会
 - 14日 議会広報常任委員会
 - 15日 経済福祉常任委員会
 - 15日、26日 総務教育常任委員会
 - 26日 住宅政策及び中心地域調査特別委員会
 - 4日、7日、13日 日野郡町議会議員研修会
 - 12日 議会広報常任委員会
 - 12日 住宅政策及び中心地域調査特別委員会

お詫びと訂正
令和4年7月発行の「議会だより」に掲載した日南町選挙管理委員会委員の氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
正しくは、山本智恵（誤・知恵）さんです。

議会報告会&意見交換会のご案内

日南町議会

10人の議員全員が町内2会場で議会での取り組みなどを報告し、町民のみなさまと意見交換を行います。お気軽にお越しください。

新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用でお越しください。

日時 令和4年11月1日（火） 午後6時～8時

会場 総合文化センター・多目的ホール

日時 令和4年11月2日（水） 午後6時～8時

会場 石見地域振興センター



令和3年度・山上会場より

問い合わせ→日南町議会事務局 TEL 82-1900 FAX 82-1131

道 どっこい、この町に生きる 草



講師の仕事がきっかけに

車が好きて、自動車ディーラーで整備士をした後、ヴィンテージカーの工場で修行しました。その傍らアルバイトで溶接の講師をしたとき、自分は人に対してアウトプットしてなかったと気づきました。それを転機に一旦車から離れて、営業代行の仕事に就きました。**Uターンで農業に挑戦**

営業代行の仕事で全国を回るうち、都会よりもむしろ田舎の方が事業に挑戦できると感じました。その中のひとつに農業がありました。仕事の契約の更新時期や妹が結婚して実家を離れる時期、祖母の介護の問題などが重なり、自分が実家に戻って農業で起業することを決断しました。

想定外の1年目

就農1年目の今年は業者とのやり取りや雇用、圃場の準備などで想定外のことがありました。5月

8割農業2割X エッセンス ふるさとで挑戦！

まつもと きょうへい
松本 恭平さん（丸山）

頃まで死ぬほど忙しかったです。その後、順調に収量も上がっていますが、まだまだ満足していません。来年はもっと頑張ります。

多様性のある農業を目指して

風邪などは何年も引いてませんし仕事の飲み込みの早さは研修先で褒めてもらった事もあります。でも、体力には全く自信がありません。それを前提にどうやったらできるかを常に考えています。体

力のある人しかできない農業ではなく、様々な人が参加出来る多様性のある農業を目指しています。

8割農業2割X

半農半Xと言いますが、半農では中途半端なので8割しつかり農業に取組みます。残り2割のXで自分が楽しく打ち込めることに挑戦したいです。人生を豊かにするにはこの2割のXがすごく大事だと思います。



早朝からトマトの収穫

編集後記

決算議会ともいわれる9月定例会で、令和3年度の各会計決算の審査を中心に審議を行いました。

審査の過程で様々な指摘事項がありました。財政健全化判断比率、公営企業会計に係る資金不足比率はいずれも本町財政が健全であることを示しています。

今後も町の活性化、民生の安定や将来への投資のために税金や財源を有意かつ効率的に使っていききたいものです。

坪倉 勝幸記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長 近藤 仁志

副委員長 檀田 洋一

委員 久代 安敏

委員 荒木 博

委員 岡本 健三

委員 坪倉 勝幸